職工名ノ復職ヲ拒絶セル外他ハ容認スルニ至リタルカ第一項ノ復職拒絶問題ニ就テ追及サレ事業主側満水取締役ハ中途ニ於テ退席セル為メ交渉中絶スルニ至リ翌八日事業主側ハ会社ノ顧問小泉力松ニ一切ヲ委任シテ引続キ従業員側ト会見交渉シタル結果別記条件ニ依リ妥協成立シ円満解決スルニ至レリ

右及申(通)報候也

解決条項

解決条項ハ別紙ノ如キ覚書トシテ交換セリ

一、満水川事ノ復職ハ承認セサルモ小泉力松氏ニ於テ斡旋ス

二、退職手当制定ニ就テハ会社ニ於テ研究ノ上近々実施ス

三、傷病手当ノ支給ハ従来通トシ会社ハ工場衛生ニ付キ直ニ善処ス

四、日本労働総同盟ノ加入ハ自由意志トシ会社ハ之ヲ関知セス

五、争議解決ニ付キ争議費用トシテ金八百円ヲ支給ス

3341

労収第五二六七号

昭和六年十二月十七日

警視総監 高橋守雄

内務大臣 安達謙蔵殿
社会局長官殿
各庁府県長官殿（八庁府県）

合嬬精錬所労働争議ニ関スル件（第一報＝発生）

要求 一、二、三 解決
使用者側 一二三
争議参加者 八一
関係労働組合 全労

要旨

職工賃銀単價率改正ノ発表シタルニ従業員三〇名中関金組合加入者八十名ハ賃銀値下ナリトシテ本月三日五項目ニ亘ル要求書ヲ提出シ一蹴セラレタルニ端ヲ発シ争議ニ入ル

場ニ労働争議発生セルカ其状況左ノ通リ

記

(1)